

電動ポイント N-PX280(F) 説明書

Electric Double Crossover Points N-PX280(F)

このたびはトミックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの取り扱い説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分注意してお楽しみください。



NECST-neo(ネクスト・ネオ)は、音、光、動きなど、プレイバリューの拡大と充実を目指した従来のネクストシリーズを進化させ、簡単確実な結線、操作性、機能性などがさらに向上した、レール、制御機器グループです。これらの製品には、このマークが付いています。

⚠ 注意 (かならずお読みください)

- 商品特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。
- この商品には小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思わぬ事故の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- コードを首にかけてぶざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息の危険があります。
- レールの先端などは機能上尖った部分があります。誤ってケガなどのないよう、取り扱いには注意してください。

- この製品を分解したり改造しないでください。思わぬ事故の危険があります。
- この製品を指定以外の制御機器と接続しないでください。思わぬ事故の危険があります。
- レール間をショートさせないでください。パワーユニットなどが発熱する恐れがあります。
- 脱線した場合、モーター・パワーユニットなどが発熱する恐れがありますので、ただちに電源を切ってから復旧させてください。また、運転を行わないときには、必ずコンセントからパワーユニットのプラグまたはACアダプターを抜いておいてください。
- 加工組み立ての際に出たクズは、すぐに捨ててください。

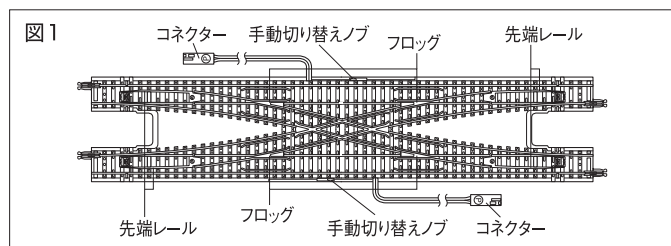
※この取り扱い説明書は、必ず保管しておいてください。

■セット内容と各部の名称

●セット内容

ポイントレール本体……………1個
 ダミーポイントモーター台……………4個
 ランナーパーツ(ダミーポイントモーターL・R)……………4ランナー

●ポイントN各部の名称

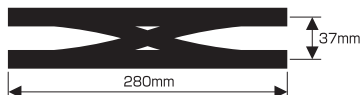


■模型取り扱い上のお願ひ

1. 電動ポイントN-PX280(F)の駆動には必ず専用のネクスト・ネオシリーズパワーユニットN及びポイントコントロールボックスN-Wをご使用ください。ネクスト・ネオシリーズのポイントNは、駆動に必要な分だけ電気をチャージして使用する方式を採用しているため、それ以外の電源をご使用になると、ポイントを破損もしくはコイルをいため、著しく能力が低下する場合があります。
2. 先端レールを直接指などで動かしたり、無理な力を加えたりしないでください。変形して機能が損なわれるおそれがあります。
3. ポイントコントロールボックスNからコードを抜くときは、必ずコネクタ部を持って抜いてください。コードを持って抜くと断線のおそれがあります。
4. 湿気やホコリの多い場所、暖房器具の近くなど温度の高くなる所でのご使用や保管は、模型に悪い影響を与えますのでおやめください。
5. 注油しないでください。また、ボンドや水分やゴミ、チリなどがポイントにはいらないようご注意ください。作動不良や通電不良の原因となります。
6. 無理な力を加えて曲げたり、落としたり、上に重いものをのせないでください。故障の原因となります。
7. ポイントNの駆動には永久磁石を使用していますので、鉄板など磁性体の近くでのご使用は避けください。動作が不安定になる場合があります。
8. ポイントN用駆動ユニットは必要時以外、むやみに着脱しないでください。故障の原因となります。
9. 固定式レイアウトでご使用の場合、駆動ユニット付近にバラストやストラクチャーなどを配置する場合は、駆動ユニットが交換できるよう、取りはずしを考慮のうえで配置してください。
10. 塗装される場合、駆動ユニット及びポイント作動箇所には塗料がかからないよう注意してください。動きがぶくなるおそれがあります。また、先端レールは切り替わる側のレールとの接触により通電しますので、接触する部分に塗料をかけないように注意してください。レールうらのネジ部に絶縁のためテープを貼ってください。
11. 電動ポイントN-PX280(F)のフロッグ部等は機能上樹脂製となっていますので、〈92007〉193系クリーニングカーなどは絶対に走行させないでください。樹脂上面が削られ、故障の原因となります。マルチレールクリーニングカーの使用は問題ありません。

図2

●N-PX280(F)の寸法



●消費電流

電動ポイントNの消費電流=150mA

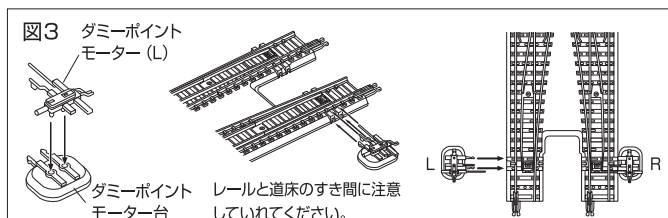
※消費電流の合計計算をする場合、電動ポイントNは個数に関係なく150mAとなります。

■ダミーポイントモーターの組み立てと取り付け

ダミーポイントモーターには、取り付ける方向により、(L)と(R)の2タイプがあります。レイアウトにより、どちらか一方のタイプをお選び下さい。なお、刃物などの工具をご使用になる際は、ケガなどないよう十分にご注意ください。

※ダミーポイントモーターを取り付けなくても、機能的に問題はありません。

1. ランナーからLまたはRのダミーポイントモーターをニッパーなどできれいにカットします。
2. ダミーポイントモーターをダミーポイントモーター台に差し込みます。
3. 図3を参照して、ポイントレールに横から差し込みます。



※ダミーポイントモーターは、ポイントレールの左側に取り付けるときはL、右側に付けるときはRを使用します。

●ポイントモーターとは……

実物は、ポイントレールを切り替えるための装置です。模型ではダミーですので、取り付けなくても機能的に問題ははありません。よりリアルな形状をお楽しみいただく際にお取り付けください。

■N-PX280の電気的構造

本製品は、下の図4の箇所に、ギャップを設けています。そのため区間A、区間B、区間C、区間Dは電気的に分断されています。レイアウトに応じてD.C.フィーダーNの取り付け位置と必要個数に注意が必要です。裏面の「配線と運転方法」をよくお読みください。

図4



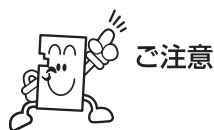
■手でポイントを切り替える場合

図5のように切り替えノブを指でスライドすることにより、ポイントを切り替えることができます。

図5



※必ず両方のポイントを切り替えてください。



ポイントレールの先端レールは持ち上げたり、さわったりしないでください。

図6



配線方法

ポイントコントロールボックスは必ずN-Wをご使用ください。パワーユニットNの電源スイッチがOFFになっているのを確かめ、ポイントから出ているコードの先のコネクターをポイントコントロールボックスNのコネクターに差し込みます。なお、ポイントコントロールボックスNからコードを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。コードを持って抜くと断線のおそれがあります。

図7

①マークが上になるようにして差しします。

ポイントN

※コネクターは入れる方向が決まっています。向きを確かめて正しく差し込んでください。

電動ポイントの切り替え方法

ポイントの配線が終わったら、必ずリセット操作をしてください。リセット操作をしないと、ポイントとポイントコントロールボックスNの切り替え方向が一致しない場合があります。

リセット操作

- 1.正しく配線されているのを確認し、パワーユニットNの電源をONにします。
- 2.切り替えは必ず1秒以上の間隔をあげ、ポイントコントロールボックスNのレバーを操作して2回(1往復)切り替えます。(1回目の切り替えのときは、ポイントが切り替わらない場合がありますが、異常ではありません。)
- 3.ポイントが正しく切り替わっていることを確認します。ポイントコントロールボックスNのレバーを手前に倒したときがカーブ側、奥になっている場合が直線側です(図8)。

※配線した状態でポイントを手動で切り替えても壊れることはありませんが、コントロールボックスNの切り替え方向と一致しない場合があります。その場合は再度、リセット操作を行ってください。

図8

ポイントの切り替え方向



直線側

カーブ側

※ポイントの切り替えは1秒以上の間隔をあげてください。

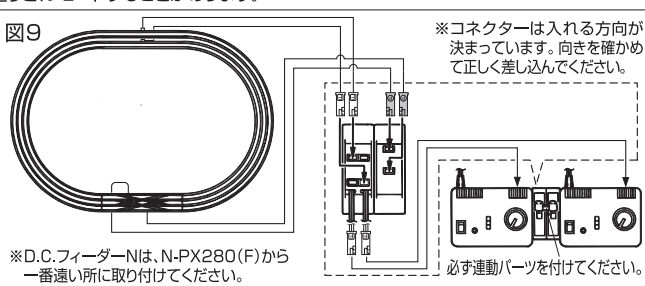
配線と運転方法

必ず別売の、(5533)ユニバーサルスイッチボックスNをご使用ください。ユニバーサルスイッチボックスNに付属の説明書も参照のうえ、以下の説明にしたがって配線、運転をしてください。

●複線エンドレスの両渡りの場合 (D.C.フィーダーNは、2個必要です。)

外線と内線のD.C.フィーダーNは、図9のように、必ず同じ向きに揃えてください。向きが違くと、ショートすることがあります。

図9



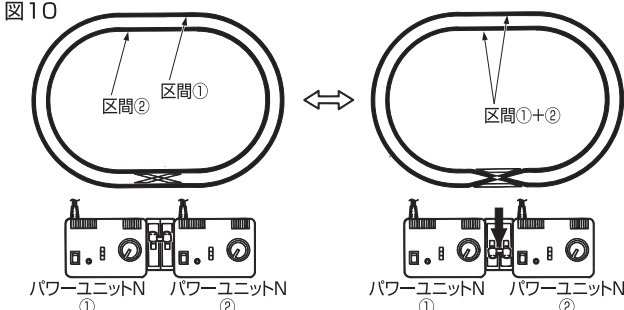
※コネクターは入れる方向が決まっています。向きを確かめて正しく差し込んでください。

※D.C.フィーダーNは、N-PX280(F)から一番近い所に取り付けてください。

必ず運動パーツを付けてください。

配線が終了したら、必ずリセット操作をします。リセット後、車両の運転を行ないます。この場合、N-PX280(F)を切り替えた時、通電区間は図10のように変化します。

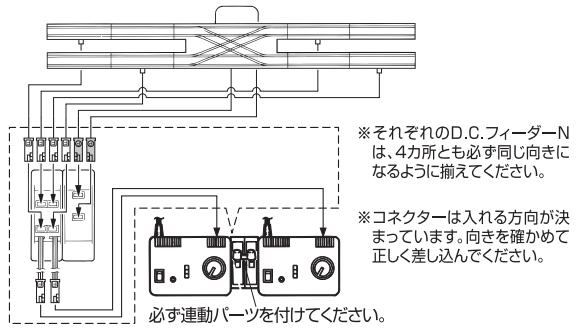
図10



※N-PX280(F)が直線側に切り替わっている場合、区間①と区間②はそれぞれパワーユニット①とパワーユニット②で運転します。しかし、ポイントコントロールボックスNとユニバーサルスイッチボックスNを同時に切り替えれば、区間①+②となり、パワーユニット②でこの区間を運転できます。この時、パワーユニット①からの電流は遮断されています。運動パーツでスイッチを元に戻せば、再びパワーユニット①とパワーユニット②で運転できるようになります。

●独立交差運転の場合 (D.C.フィーダーNは、4個必要です。)

図11



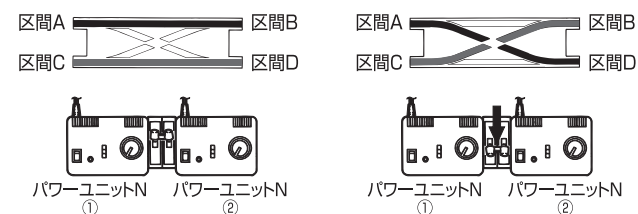
※それぞれのD.C.フィーダーNは、4カ所とも必ず同じ向きになるように揃えてください。

※コネクターは入れる方向が決まっています。向きを確かめて正しく差し込んでください。

必ず運動パーツを付けてください。

配線が終了したら、必ずリセット操作をします。リセット後、車両の運転を行ないます。この場合、N-PX280(F)を切り替えた時、通電区間は図12のように変化します。

図12



※N-PX280(F)が直線側に切り替わっている場合、区間A-区間Bはパワーユニット①で、区間C-区間Dはパワーユニット②で運転します(図左)。しかし、ポイントコントロールボックスNとユニバーサルスイッチボックスNを同時に切り替えると、区間A-区間Dは/パワーユニット①で、区間C-区間Bはパワーユニット②で運転します(図右)。このため、行き止まり式の駅などにこのパターンを使うと、区間Aと区間C、もしくは区間Bと区間Dのどちらからでも車両の発着が可能となります。

●延長コードについて

レイアウトにより電動ポイントNのコードがポイントコントロールボックスNに届かない場合は、別売の<5814>延長コード(電動ポイントN用)をお使いください。なお、このとき継ぎ足す延長コードは5本以内としてください。延長コード1本の長さは、1.5mです。

ポイントN駆動ユニットの交換方法

駆動ユニットを交換する場合は、別売の(0107)ポイントN用駆動ユニット(F)をお求めになり図13を参照して交換してください。ポイントが固定されていない場合は、駆動ユニット裏面の溝にツメを引っかけて駆動ユニットを取り出します。レイアウトに固定されている場合、コードを引っ張って駆動ユニットを取りはずします。

注意: 切り替えノブは絶対に引っ張らないでください。切り替えノブを引っ張っても駆動ユニットははずれません。交換時には、ポイント駆動ユニットNのコイル部及びコイル線を傷つけないようにご注意ください。

図13

●取り出し方

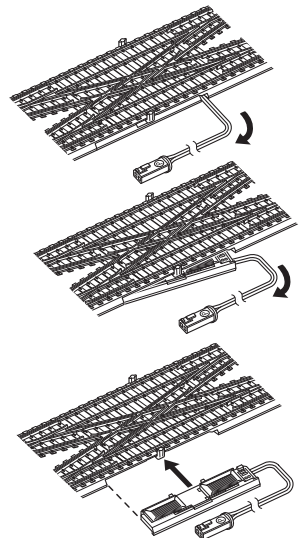
- 1.右図のようにコードを引っ張って駆動ユニットを取りはずします。

注意: 切り替えノブは絶対に引っ張らないでください。切り替えノブを引っ張っても駆動ユニットははずれません。

- 2.駆動部のはしが出たら、ドライバーやツメなどを引っかけて取りはずします。

●取り付け方

ポイントのミジと駆動ユニットの左側を合わせて差し込みます。



※イラストなどは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。

また、トミーテックへお問い合わせの場合は、

トミーテックお客様相談室 トミックス係

TEL : 03-3695-3161(代) までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日(祝・休日除く) 10～17時

本製品のお客サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。

(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10